



## GIS処理 “Vector Composer” の紹介:

ベクタデータ(ポイント・ライン・ポリゴン)の書き込み編集や、属性の編集表示をおこなうセクションです。3章のImage Composerと異なり、こちらはベクタデータの取り扱いを中心としています。

### A: 「画像やベクタデータの表示方法」

ベクタファイル形式を選択。

□部分をドラッグして変形

ダブルクリックでプロパティ表示・編集

- から、XDM形式の画像データを読み出し、表示ができます。表示後は、画面左側のFile Manager Bar にファイル名が掲載されます。
- から、下記形式のベクタデータを読み出し、表示・編集ができます。  
XVC、XPT、XTN、SHP、DXF、DGN、KML、XYZ、NITF  
表示後は、画面左側のVector Manager Barにファイル名が掲載されます。
- から、拡大縮小、位置調整ができます。

ベクタデータをクリックし、赤い部分をドラッグするとスライド移動、□部分をドラッグするとその部分を変形させることができます。ダブルクリックすると、プロパティから色や太さなどの変更ができます。

- から、XDM形式の画像データを読み出し、表示ができます。表示後は、画面左側のFile Manager Bar にファイル名が掲載されます。

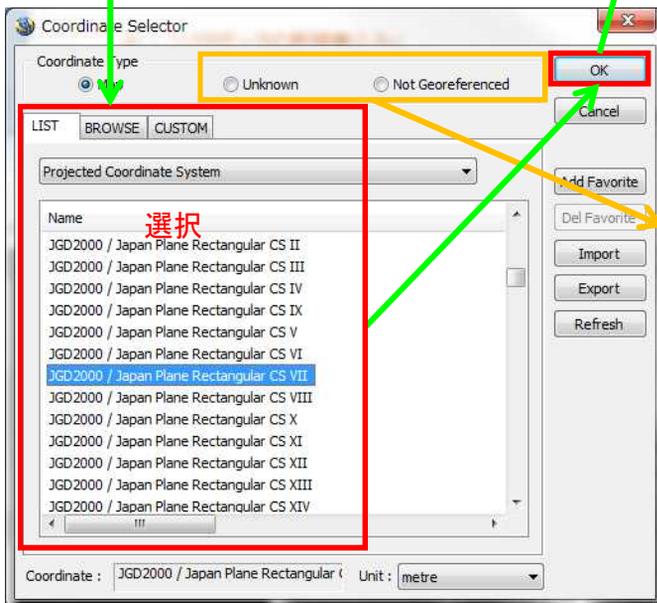
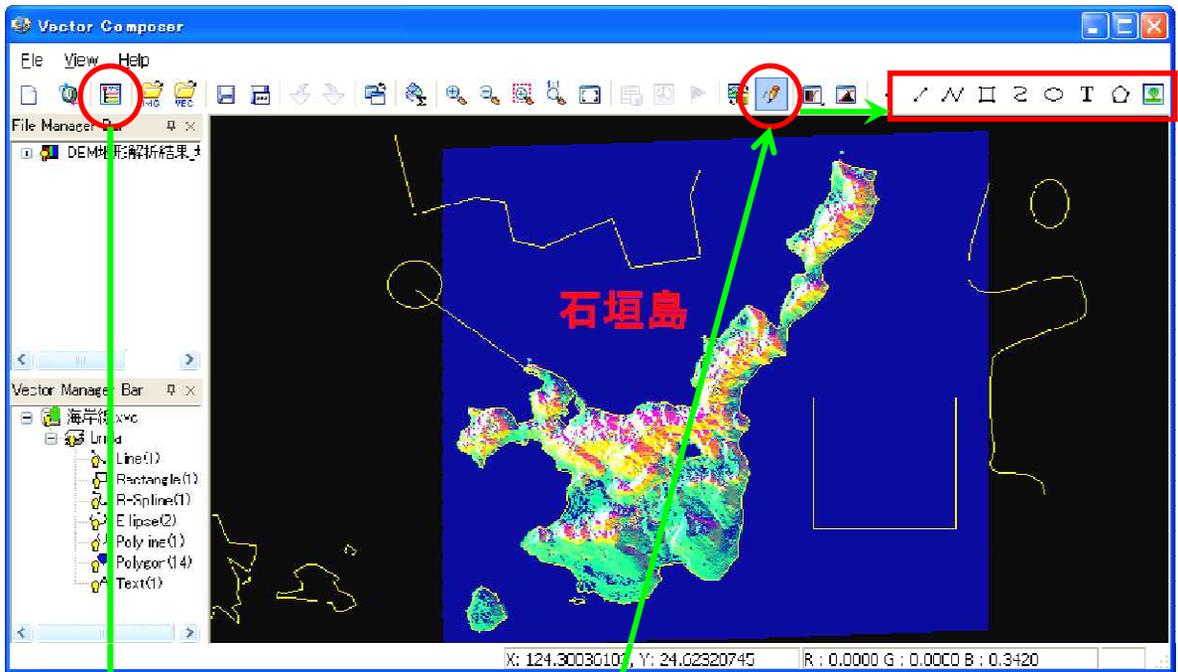
- から、下記形式のベクタデータを読み出し、表示・編集ができます。  
XVC、XPT、XTN、SHP、DXF、DGN、KML、XYZ、NITF  
表示後は、画面左側のVector Manager Barにファイル名が掲載されます。

- から、拡大縮小、位置調整ができます。

- ベクタデータをクリックし、赤い部分をドラッグするとスライド移動、□部分をドラッグするとその部分を変形させることができます。ダブルクリックすると、プロパティから色や太さなどの変更ができます。

## B: 「ベクタデータの新規書込み」

- まず、 から、“Coordinate Selector”を開き、これから書き込むベクタデータの投影報を設定します。既に画像データ(XDM)が表示されている場合は、その画像データと同じ投影情報を選択します。

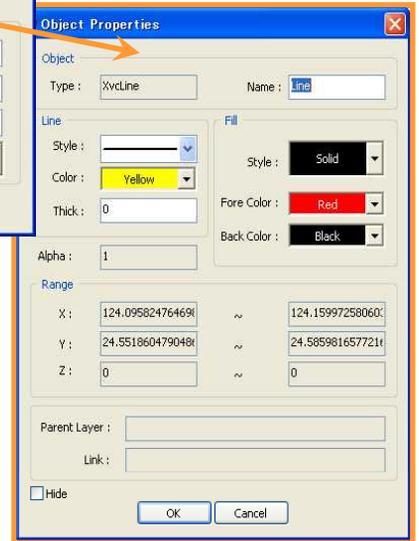
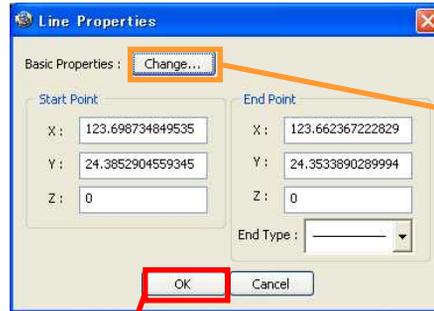


投影情報が、不明な場合は、Unknownを、特に指定されていない場合は、Not Georeferencedを選択します。

- 続いて、 が押された状態であることを確認し、書き込むベクタデータのスタイルを選んで書き込みます。

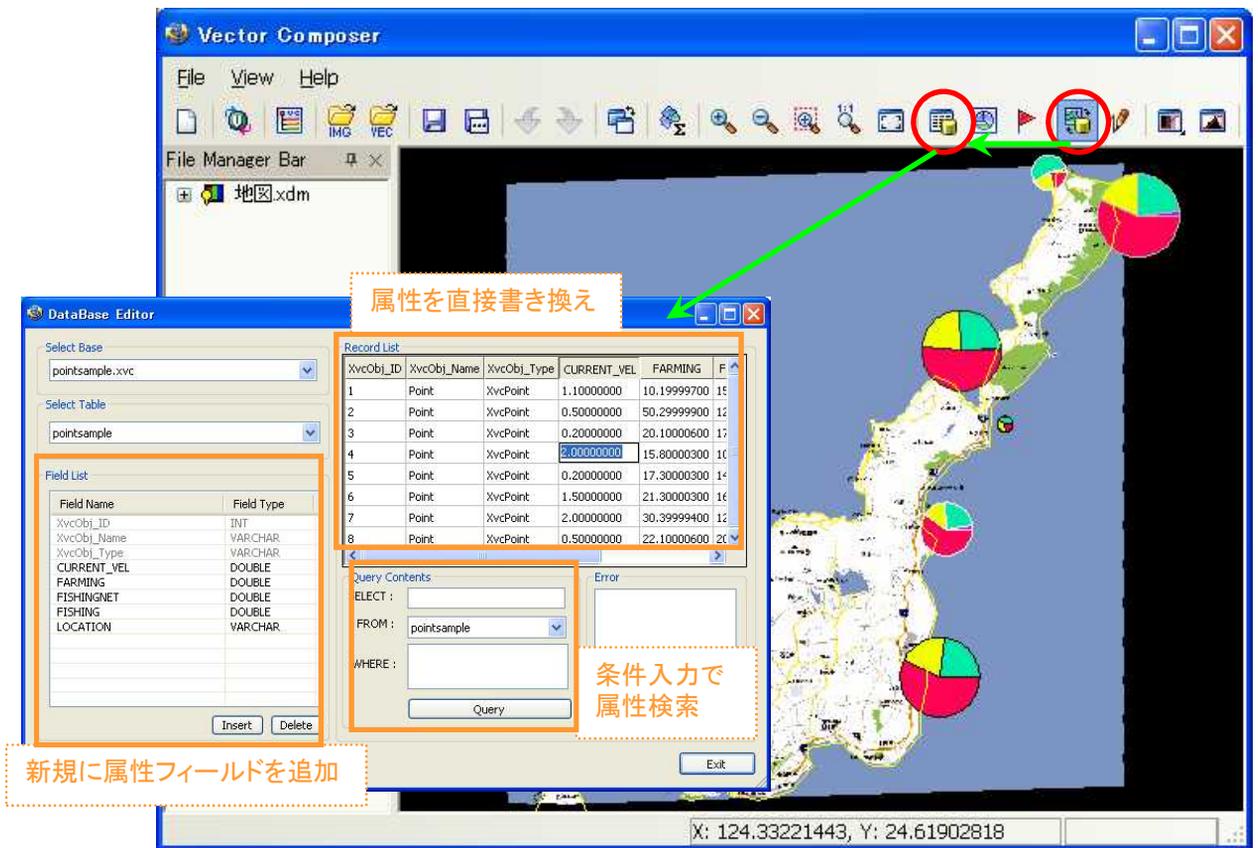
- ・  から文字の追加、 から画像の追加ができます。
- ・       から、新規にベクタデータを書き込み追加できます。  
その際、同様にプロパティから色や太さなどの設定も可能です。

複数のベクタデータを呼び出していた場合は、追加したデータをどのベクタデータのどのレイヤに保存するかを指定します。



## C: 「属性の編集」

- ・  を押した状態でおこないます。



The screenshot shows the Vector Composer interface with a map of Japan and several pie charts. The DataBase Editor window is open, displaying a Record List table and a Field List table. Annotations in orange boxes provide instructions on how to edit attributes and add new fields.

**属性を直接書き換え**

XvcObj_ID	XvcObj_Name	XvcObj_Type	CURRENT_VEL	FARMING	F
1	Point	XvcPoint	1.10000000	10.19999700	15
2	Point	XvcPoint	0.50000000	50.29999900	12
3	Point	XvcPoint	0.20000000	20.10000600	17
4	Point	XvcPoint	2.00000000	15.80000300	10
5	Point	XvcPoint	0.20000000	17.30000300	14
6	Point	XvcPoint	1.50000000	21.30000300	16
7	Point	XvcPoint	2.00000000	30.39999400	12
8	Point	XvcPoint	0.50000000	22.10000600	20

**条件入力で属性検索**

**新規に属性フィールドを追加**

Field Name	Field Type
XvcObj_ID	INT
XvcObj_Name	VARCHAR
XvcObj_Type	VARCHAR
CURRENT_VEL	DOUBLE
FARMING	DOUBLE
FISHINGNET	DOUBLE
FISHING	DOUBLE
LOCATION	VARCHAR

- ・  から、“DataBase Editor”を開きベクタデータの属性の編集ができます。  
“Record List”欄で属性の記入・書き換え。“Query Contents”欄で条件式を入力しての属性検索。  
“Field List”欄で新規に属性フィールドの追加がおこなえ、 を押して下記のフィールドタイプを選択いただけます。



Field Name: New

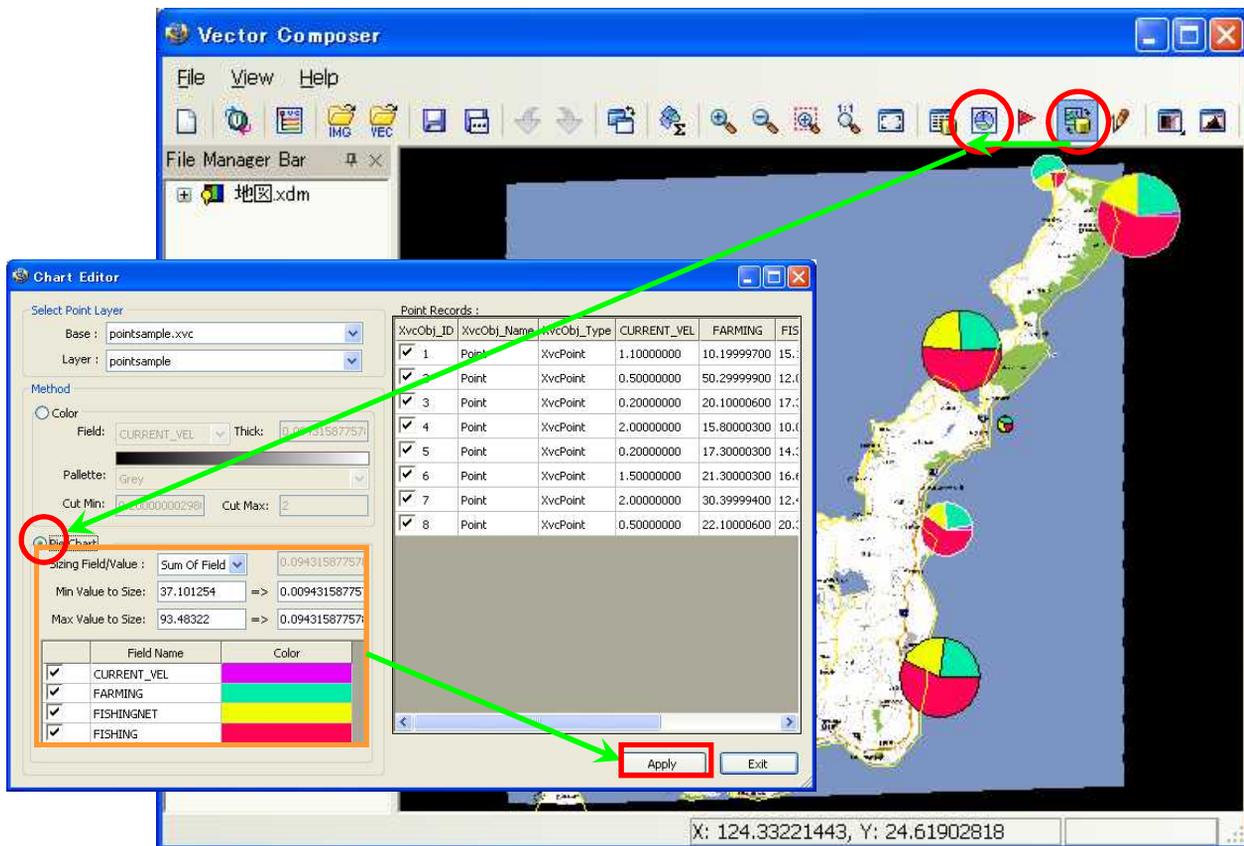
Field Type: VARCHAR

OK Cancel

VARCHAR = 固定長文字列  
NVARCHAR = 可変長文字列  
INT = 整数  
DOUBLE = 浮動小数点

## D: 「チャート表示」

- ・  を押した状態でおこないます。ポイントデータに限ります。(ポリゴン、ラインには無効です。)



- ・  から、「Chart Editor」を開き、「Pie Chart」にチェックを入れ、  で、属性値に基づくチャートを表示できます。「Pie Chart」口欄の各属性フィールドのチェックを外すと、チャートの対象外となり、Color部分をクリックして表示色の変更もできます。

